

JR東労組盛岡

No.63
2024年3月6日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人 大村 博行
編集人 情 宣 部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

2024年度賃金引き上げ等に関する申し入れ 2024年度夏季手当に関する申し入れ

申 15 号

申 16 号

第2回団体交渉を行う！①

JR東労組の主張

これが職場における組合員・社員の努力の結果だ！

第3四半期
決算

対コロナ前
9割の回復

営業利益
対前年
279%増

業績予測
上方修正

営業費用の
減

各系統の
努力

足元の
動向

2月
鉄道営業収入
対コロナ前
99.4%

中長期の
見通し

変革 2027の
数値目標
運輸事業は
順調に推移

インバウンド

昨年12月
過去最高

2024年
過去最高予測

世間の動向

24春闘
大幅賃上げ
続出

経団連・政府
賃上げ方針

全ての状況が好転している！

昨年以上のベアが出るのは当然！

満額回答を強く求める！！

会社の主張

営業収入は9割回復したが、本業の力を示す営業利益が9割に戻っていない。全て順風満帆ではない。

会社はこの言葉を繰り返し述べる！



2024年度賃金引き上げ等に関する申し入れ 2024年度夏季手当に関する申し入れ

申 15 号

申 16 号

第2回団体交渉を行う！②

6,000件を超える組合員・社員の声をぶつける！

- インバウンドも増え、窓口での対応に時間がかかり、徒列ができるようになった。乗降人員や売上にならない部分で現場は苦労が絶えないし、増えている。
- インバウンドに加えて、キュンパスや大人の休日倶楽部パスで、常に繁忙期の忙しさだ。
- 赤字・コロナ禍を理由にして、要員と設備を削減したしわ寄せとして、要員不足とサービス低下、一人当たりの労働密度が増えている。お客さまが増えれば、忙しくなるのは単純な話。それに加えて企画業務。要員は増えるどころか減らされている。
- 年休を申請しても、時季変更されてしまうことがしばしばあり、生活設計が難しい。
- 休み返上で働き、なおかつ統括センター化で他の仕事もしろとなると、今の給料では全く割に合わない。
- 複数駅勤務を担っている。他駅の勤務の度に、制服や着替えを持って出勤している。施策前にはあり得なかった出勤だ。賃金に反映して欲しい。
- 十分な教育期間も設けられずに、少しかじった担務を不安を残したまま、周りのサポートを受けながらやっている。これでは疲弊するばかり。
- 働き方改革や企画業務をこんなに少ない社員数で出来るわけがない！
- 以前は車掌業務だけだったが、今は営業、転てつ器の異物除去、架線支障物の対応など、さまざまな職種をやることになっている。
- やることばかり増えていき、ミスをすれば責任追及。人間そんなに何でもこなせる人はいない。
- ミスを許さない会社姿勢が見える状況で、日々の業務で緊張感が高まっている。求められるものが多くなり、労働密度はより濃くなっている。
- 統括センター化に伴い、「何でも屋さん」化してきて、本来の安全の定義はどこにいったのか。
- 相次ぐ事故・事象により、職場では事故状況の周知と対策会議、新たな緊急指示事項による教育等を受け、業務に就くと同時に、相次ぐ緊急点検に追われた。
- 労務単価の上昇によって、実質施工計画はショートせざるを得ない状況にあり、その見直しや調整に大変な労力と時間をかけて行ってきた。
- コロナになり、会社のコストダウンにも積極的に考え実施してきた。一体いつになれば賃金に反映されるのか。
- 常に余裕がなく、誰か体調不良で休むと検査が回らない。
- 冬季の電気代や灯油の高騰が生活費を圧迫している。
- ただでさえ基本給が低く、期末手当まで押し下げられている中で、相次ぐモノの値上げと、生活がどんどん厳しくなるばかりだ。
- 業務量に見合った賃金をしっかりと出して欲しい。現実はそうならないから、JR東日本はブラック企業だと言われていることを分かっていない。
- 鉄道会社に入ったのに、鉄道業務は二の次で、企画業務が一番になっている。



決算の結果は、組合員・社員のたゆまぬ努力の結果だ！！